

<総合経営学部 公共経営学科>(中学校一種免許状(社会))

各段階における到達目標

| 履修年次 | | 到達目標 |
|------|----|---|
| 年次 | 時期 | |
| 1年次 | 前期 | 公共経営学科では、国、地方自治体、非営利団体等の社会的事業のマネジメントを教育することで、公共的諸施設及びサービスをマネジメントする能力を有し、地域貢献を行う人材の育成を目指している。この公共経営学科の教育理念に則り、本学教職課程履修生は教職に関する科目では、1年次前期に「教師論」「発達・学習過程論」を履修し、教員に求められる資質能力のうち、特に、教員の職務内容や生徒の発達に対する理解を深めることが到達目標である。又、教科に関する科目では、「政治学」「世界史」などの社会科分野の包括的科目を中心に履修し、教科(社会)指導の基礎的な知見を修得する。 |
| | 後期 | 公共経営学科1年次後期では、前期に引き続き副専攻科目と主専攻科目(基礎科目)などの履修に加えて、自由選択科目として「キャリアデザイン入門」を開設し、学生各自の進路について熟慮する機会を与え、望ましい勤労観・職業観の形成を図っている。教職に関する科目では「教育思想史」「教育社会学」を履修し、教育の理念・歴史及び思想や社会的・制度的又は経営的事項についての見識を深め、「中学社会科教員」としての資質の向上を目指す。 |
| 2年次 | 前期 | 公共経営学科2年次前期からは、公共経営学の幹となる理論を「地域政策」と「スポーツ・レジャー」の2コースに系統化した主専攻科目(基幹科目)として配置し、学生が専門的な学びに円滑に進むことができるように配慮している。教職に関する科目では「教育課程・特別活動論」「社会・地歴科教育法Ⅰ」「社会・公民科教育法Ⅰ」、教科に関する科目として「社会調査入門」などを履修し、社会科教員として必要な教科指導の方法・授業づくりの力量を身につける。 |
| | 後期 | 公共経営学科2年次後期から教職に関する科目では「教育方法論」「社会・地歴科教育法Ⅱ」「社会・公民科教育法Ⅱ」、教科に関する科目として「社会貢献論」「社会調査法」などを履修し、社会科教員として必要な教科指導の方法・授業づくりの力量を深める。 |
| 3年次 | 前期 | 公共経営学科3年次前期から、教職に関する科目では「教育原論」「教育相談・進路指導論」、教科に関する科目として通年科目である「企業法」「商法(会社法)」などを履修し、教育の理念・歴史及び思想についての知見を深め、さらに、社会科教員に不可欠な教材解釈力を高める。 |
| | 後期 | 公共経営学科3年次後期から、教職に関する科目では「教育心理学」「道徳教育の研究」、教科に関する科目とあわせ、副専攻科目を履修し、生徒の心身の発達についての知見を深め、教員の資質として不可欠な対人関係能力や生徒への教育愛を高め、教員としての使命感や責任感を強める。 |
| 4年次 | 前期 | 公共経営学科4年次前期から、教職に関する科目では「教育制度・法規論」「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」、そして、教科に関する科目の履修を通して、社会科教員の資質として必要な専門的知識・技能及び授業づくりの力や授業における表現力を獲得する。 |
| | 後期 | 公共経営学科4年次後期から、教職に関する科目では「教職実践演習(中・高)」の履修を通して、教員として必要な資質(使命感・社会性・生徒理解・指導力)や社会科教員として最小限必要な専門的知識・技能が確実に身についたことを確認する。 |

<総合経営学部 公共経営学科>(高等学校一種免許状(公民))

各段階における到達目標

| 履修年次 | | 到達目標 |
|------|----|--|
| 年次 | 時期 | |
| 1年次 | 前期 | 公共経営学科では、国、地方自治体、非営利団体等の社会的事業のマネジメントを教育することで、公共的諸施設及びサービスをマネジメントする能力を有し、地域貢献を行う人材の育成を目指している。この公共経営学科の教育理念に則り、教職課程履修生は教職に関する科目では、1年次前期に「教師論」「発達・学習過程論」を履修し、教員に求められる資質能力、特に、教員の職務内容や生徒の発達に対する理解を深めることが到達目標である。又、教科に関する科目では、「国際政治学入門」「倫理学」などの包括的科目を中心に履修し、教科(公民)指導の基礎的な知見を修得する。 |
| | 後期 | 公共経営学科1年次後期では、前期に引き続き副専攻科目と主専攻科目(基礎科目)などの履修に加えて、自由選択科目として「キャリアデザイン入門」を開設し、学生各自の進路について熟慮する機会を与え、望ましい勤労観・職業観の形成を図っている。教職に関する科目では「教育思想史」「教育社会学」を履修して、教育の理念・歴史及び思想や社会的・制度的又は経営的事項についての見識を深め、「高校公民科教員」としての資質の向上を目指す。 |
| 2年次 | 前期 | 公共経営学科2年次前期から、公共経営学の幹となる理論を「地域政策」と「スポーツ・レジャー」の2コースに系統化した主専攻科目(基幹科目)として配置し、学生が専門的な学びに円滑に進むことができるように配慮している。教職に関する科目では「教育課程・特別活動論」「社会・公民科教育法Ⅰ」、教科に関する科目として「現代社会と公共倫理」「生活文化論」などを履修し、公民科教員として必要な教科指導の方法・授業づくりの力量を身につける。 |
| | 後期 | 公共経営学科2年次後期から、教職に関する科目では「教育方法論」「社会・公民科教育法Ⅱ」、教科に関する科目として「地域文化論」、通年科目である「公共経済学」などを履修し、公民科教員として必要な教科指導の方法・授業づくりの力量を深める。 |
| 3年次 | 前期 | 公共経営学科3年次前期から、教職に関する科目では「教育原論」「教育相談・進路指導論」、教科に関する科目として通年科目である「社会政策」などを履修し、教科に関する科目として「地域社会と中小企業」などを履修し、教育の理念・歴史及び思想についての知見を深め、さらに、公民科教員に不可欠な教材解釈力を高める。 |
| | 後期 | 公共経営学科3年次後期から、教職に関する科目では「教育心理学」「道徳教育の研究」、教科に関する科目とあわせ、副専攻科目を履修し、生徒の心身の発達についての知見を深め、教員の資質として不可欠な対人関係能力や生徒への教育愛を高め、教員としての使命感や責任感を強める。 |
| 4年次 | 前期 | 公共経営学科では4年次前期から、教職に関する科目では「教育制度・法規論」「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」、教科に関する科目の履修を通して、公民科教員の資質として必要な専門的知識・技能及び授業づくりの力や授業における表現力を獲得する。 |
| | 後期 | 公共経営学科では4年次後期から、教職に関する科目では「教職実践演習(中・高)」の履修を通して、教員として必要な資質(使命感・社会性・生徒理解・指導力)や公民科教員として最小限必要な専門的知識・技能が確実に身についたことを確認する。 |

<総合経営学部 公共経営学科> (高等学校一種免許状(商業))

各段階における到達目標

| 履修年次 | | 到達目標 |
|------|----|--|
| 年次 | 時期 | |
| 1年次 | 前期 | 公共経営学科では、国、地方自治体、非営利団体等の社会的事業のマネジメントを教育することで、公共的諸施設及びサービスをマネジメントする能力を有し、地域貢献を行う人材の育成を目指している。この公共経営学科の教育理念に則り、教職課程履修生は1年次前期において教職に関する科目では、「教師論」「発達・学習過程論」を履修し、教員に求められる資質能力、特に、教員の職務内容や生徒の発達に対する理解を深めることが到達目標である。又、教科に関する科目では、「公共経営学入門」「簿記原理」などの包括的科目を中心に履修し、教科(商業)指導の基礎的な知見を修得する。 |
| | 後期 | 公共経営学科1年次後期では、前期に引き続き副専攻科目と主専攻科目(基礎科目)などの履修に加えて、自由選択科目として「キャリアデザイン入門」を開設し、学生各自の進路について熟慮する機会を与え、望ましい勤労観・職業観の形成を図っている。教職に関する科目では「教育思想史」「教育社会学」を履修して、教育の理念・歴史及び思想や社会的・制度的又は経営的事項についての見識を深め、「高校商業科教員」としての資質の向上を目指す。 |
| 2年次 | 前期 | 公共経営学科2年次前期から、公共経営学の幹となる理論を「地域政策」と「スポーツ・レジャー」の2コースに系統化した主専攻科目(基幹科目)として配置し、学生が専門的な学びに円滑に進むことができるように配慮している。教職に関する科目では「教育課程・特別活動論」「商業科教育法Ⅰ」、教科に関する科目として「スポーツビジネス経営論」「レジャービジネス経営論」「地域経営論」などを履修し、商業科教員として必要な教科指導の方法・授業づくりの力量を身につける。 |
| | 後期 | 公共経営学科2年次後期から、教職に関する科目では「教育方法論」「商業科教育法Ⅱ」、教科に関する科目として「公営企業論」などを履修し、商業科教員として必要な教科指導の方法・授業づくりの力量を深める。 |
| 3年次 | 前期 | 公共経営学科3年次前期から、教職に関する科目では「教育原論」「教育相談・進路指導論」、教科に関する科目として「観光政策論」や通年科目である「職業指導」などを履修し、教育の理念・歴史及び思想についての知見を深め、さらに、商業科教員に不可欠な教材解釈力を高める。 |
| | 後期 | 公共経営学科3年次後期から、教職に関する科目では「教育心理学」「道徳教育の研究」、教科に関する科目として「消費者行動論」などとあわせ、副専攻科目を履修し、生徒の心身の発達についての知見を深め、教員の資質として不可欠な対人関係能力や生徒への教育愛を高め、教員としての使命感や責任感を強める。 |
| 4年次 | 前期 | 公共経営学科では4年次前期から、教職に関する科目では「教育制度・法規論」「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」、教科に関する科目の履修を通して、商業科教員の資質として必要な専門的知識・技能及び授業づくりの力や授業における表現力を獲得する。 |
| | 後期 | 公共経営学科では4年次後期から、教職に関する科目では「教職実践演習(中・高)」の履修を通して、教員として必要な資質(使命感・社会性・生徒理解・指導力)や商業科教員として最小限必要な専門的知識・技能が確実に身についたことを確認する。 |